

# 一般建物の運用エネルギー低減を目的とした 簡易コミッシュニングシステム開発に関する研究

**共同研究機関名** コーナー札幌株式会社、株式会社高組、日進設備工業株式会社  
北海道大学、北海道電力株式会社  
**担当部科** 環境科学部居住環境科、居住科学部人間科学科  
**研究期間** 平成15~17年度

## 研究の目的

建築分野全体の省エネルギー化を図るため、既存建築物における運用エネルギー低減、すなわちコミッシュニングの実施が不可欠となっています。一方、コミッシュニングの事前調査（建物の現状と改善に向けた課題把握）、運用改善や設備改修の計画立案には多くの専門知識や費用、時間が必要で、これらの簡易化を図る必要があります。本研究では簡易な現状把握と改善計画立案を支援するプログラム「簡易コミッシュニング-DearH」を開発しました。

## 研究概要

### ■実建物におけるケーススタディ

コミッシュニングのデータ蓄積のため、事務所や学校等の実建物におけるコミッシュニングのケーススタディを行いました。

### ■簡易コミッシュニング-DearHの開発

DearHは事務所や学校を対象に、建物管理者や設備の実務者等が使用することを想定しています。また、DearHは一次診断、二次診断の2つの部分からなります。一次診断では、簡易な情報入力（月毎のエネルギー消費量、延床面積、建設年等）により用途別エネルギー消費量（暖房、冷房等）を推定し、建物の省エネルギー性能に関する現状評価や、改善に向けたポイントの抽出を行います。二次診断では、各種改善手法の実施効果を試算し、改善計画を立案します。

## 活用方法・成果

### ■簡易コミッシュニング-DearHの公開

DearHは平成18年度に北方建築総合研究所のホームページにおいて一般公開予定です。

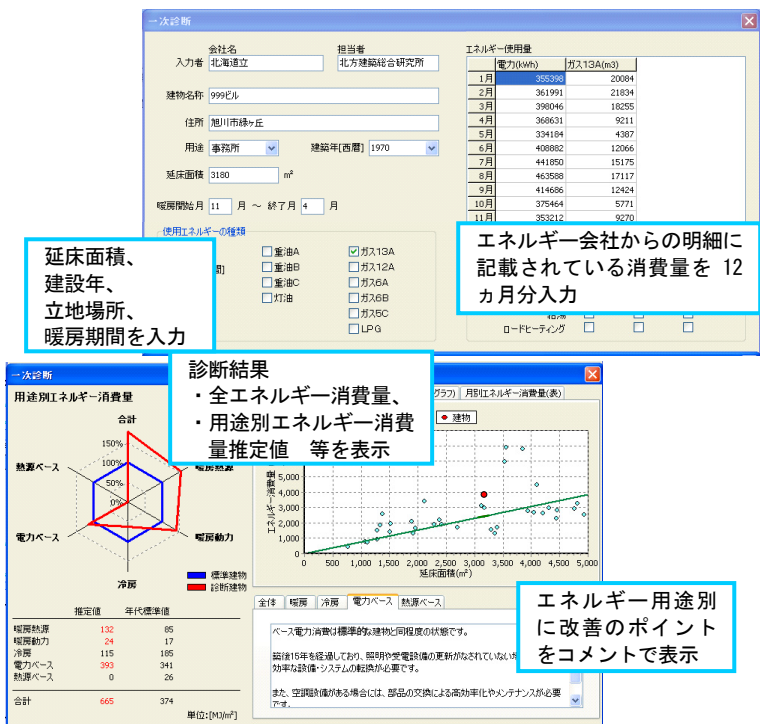


図1 一次診断のデータ入力と診断結果

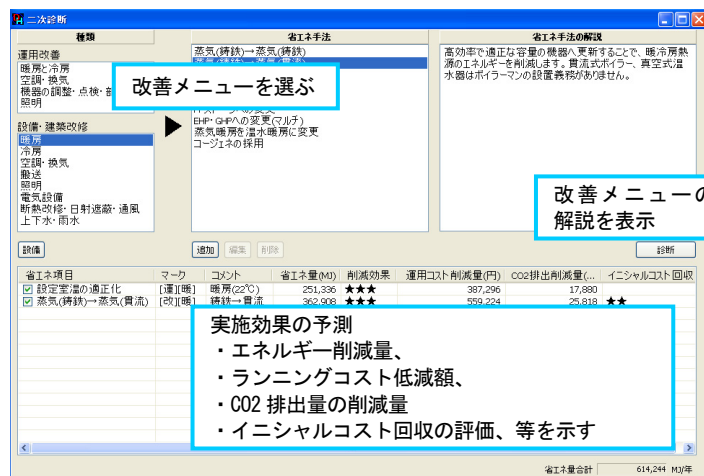


図2 二次診断